

平成20年工業統計調査結果の概要（速報） （ 従業者4人以上の事業所 ）

1 概況

(1) 調査結果の概要

事業所数	1,876事業所	(3事業所	(0.2%)	増)
従業者数	72,958人	(2,899人	(3.8%)	減)
製造品出荷額等	4兆4,106億円	(1,595億円	(3.8%)	増)
現金給与総額	2,999億円	(50億円	(1.7%)	増)
原材料使用額等	3兆825億円	(1,490億円	(5.1%)	増)
有形固定資産投資総額	3,298億円	(1,227億円	(59.3%)	増)

※ 有形固定資産投資総額は従業者30人以上の事業所

(2) 事業所数、従業者数、製造品出荷額等の推移

平成20年は、事業所数は昨年に続き3の増となり、従業者数は2,899人減となった。また、製造品出荷額は1,595億円の増となり、7年連続の増加となった。

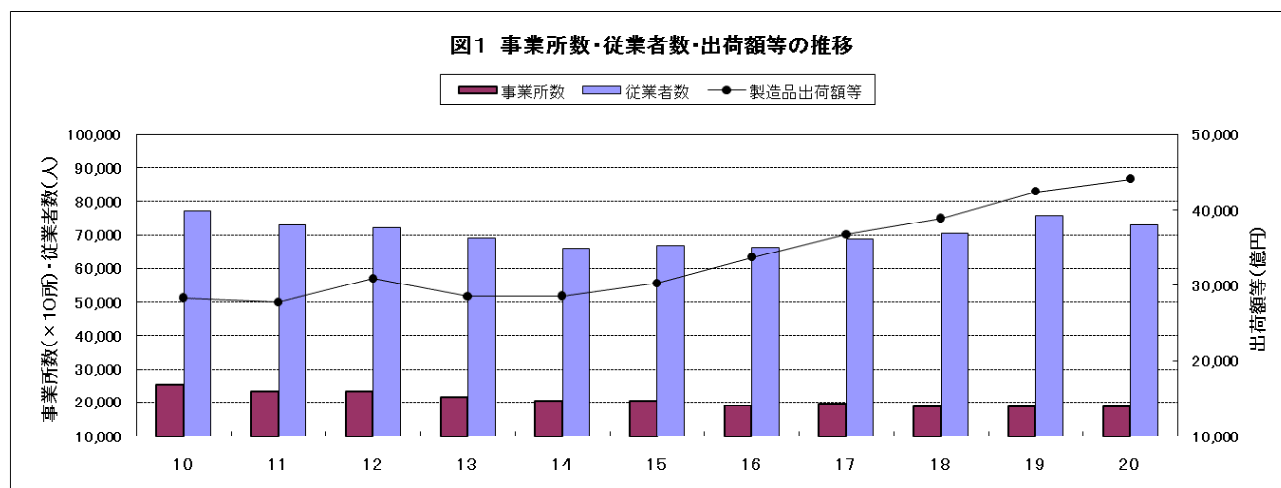
(表1、図1、統計表第1表)

表1 事業所数、従業者数、製造品出荷額等の推移

(単位:人、億円、%)

年次別	事業所数			従業者数			製造品出荷額等					
	増減数	増減率	指数 12年=100	増減人数	増減率	指数 12年=100	金額					
							増減額	増減率	指数 12年=100			
10	2,516	174	7.4	107.5	77,377	▲478	▲0.6	107.3	28,305	▲1,177	▲4.0	91.7
11	2,338	▲178	▲7.1	99.9	72,980	▲4,397	▲5.7	101.2	27,758	▲547	▲1.9	89.9
12	2,341	3	0.1	100.0	72,114	▲866	▲1.2	100.0	30,875	3,117	11.2	100.0
13	2,168	▲173	▲7.4	92.6	68,948	▲3,166	▲4.4	95.6	28,472	▲2,403	▲7.8	92.2
14	2,038	▲130	▲6.0	87.1	65,793	▲3,155	▲4.6	91.2	28,542	70	0.2	92.4
15	2,039	1	0.0	87.1	66,671	878	1.3	92.5	30,299	1,757	6.2	98.1
16	1,919	▲120	▲5.9	82.0	66,312	▲359	▲0.5	92.0	33,649	3,350	11.1	109.0
17	1,971	52	2.7	84.2	68,856	2,544	3.8	95.5	36,717	3,068	9.1	118.9
18	1,867	▲104	▲5.3	79.8	70,479	1,623	2.4	97.7	38,914	2,197	6.0	126.0
19	1,873	6	0.3	80.0	75,857	5,378	7.6	105.2	42,510	3,596	9.2	137.7
20	1,876	3	0.2	80.1	72,958	▲2,899	▲3.8	101.2	44,106	1,595	3.8	142.9

図1 事業所数・従業者数・出荷額等の推移



2 事業所数

(1) 概況

平成20年の事業所数は1,876事業所で、前年に比べ3事業所増加（前年比0.2%増）した。

(2) 従業者規模別状況

大規模層で3事業所、中規模層で17事業所減少したが小規模層で23事業所の増加となったため、全体では3事業所の増加となった。

（表2、統計表第2表）

表2 従業者規模ごとにみた事業所数の構成と増減

規模別区分	事業所数・構成比	増減数・増減率
小規模層（4～29人）	1,452事業所（77.4%）	23事業所増・前年比1.6%増
中規模層（30～299人）	388事業所（20.7%）	17事業所減・前年比4.2%減
大規模層（300人以上）	36事業所（1.9%）	3事業所減・前年比7.7%減

(3) 業種別状況

事業所数は、食料品、木材、窯業・土石、金属製品、輸送機器の順に多く、これら5業種で全体の約半数強の52.1%を占めている。

産業中分類24業種のうち、前年に比べ増加したのは、食料品、飲料・たばこ、鉄鋼、情報通信などの11業種である。一方、減少したのは、窯業・土石、繊維、生産用機械などの10業種である。木材、パルプ・紙などの3業種では増減がなかった。

（図2、図3、統計表第3表）

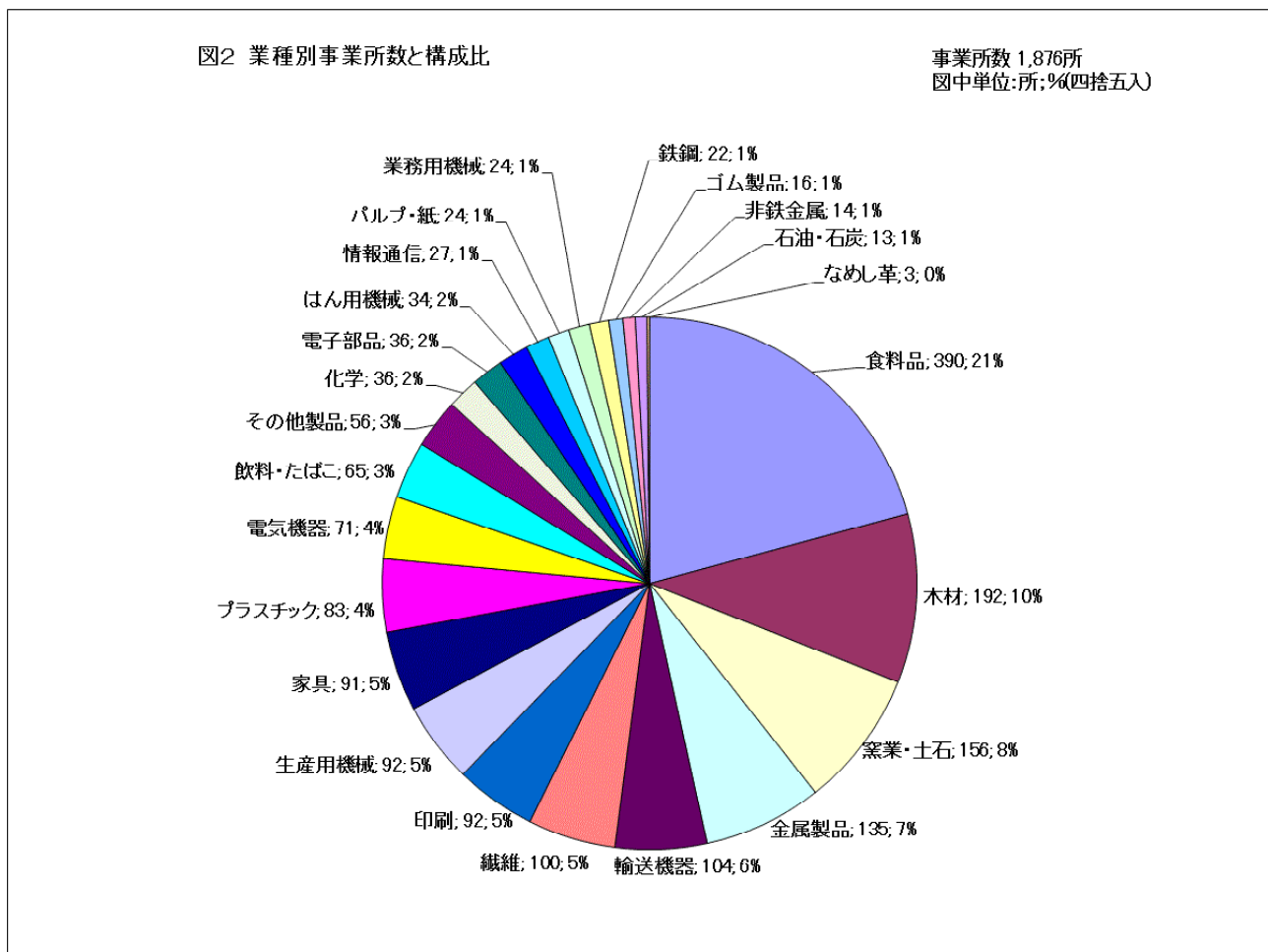
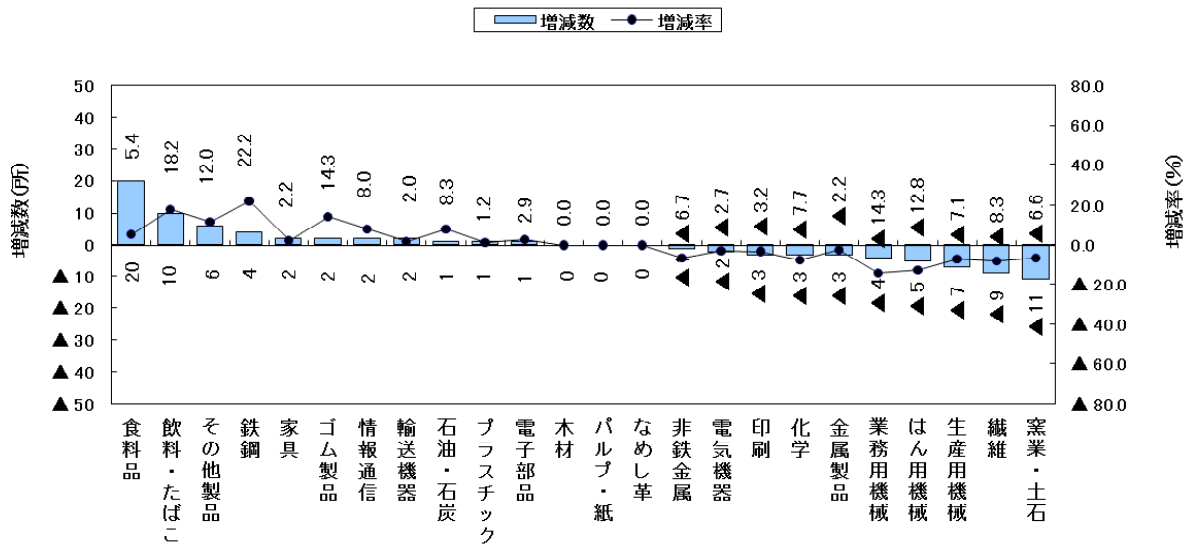


図3 業種別事業所数の前年比較



(4) 市町村別状況

事業所数は、大分市、日田市、佐伯市、中津市の順に多く、これら4市で全体の58.5%を占めている。

前年に比べ増加したのは10市町で、減少したのは8市町村であった。

(図4、表3、統計表第5表)

図4 市町村別事業所数・構成比

事業所数 1,876所
 図中単位: 所; % (四捨五入)

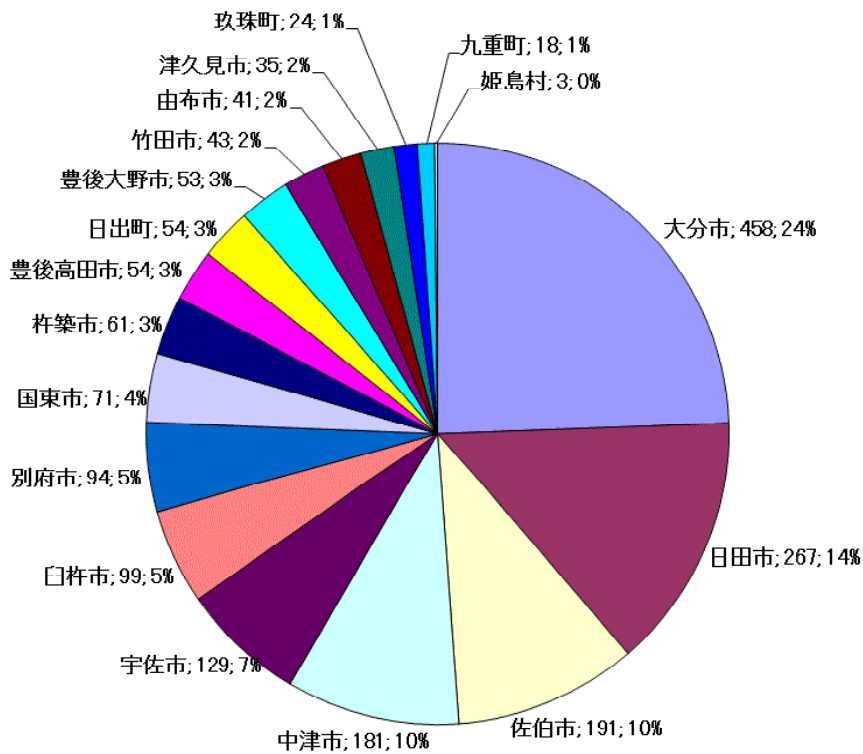


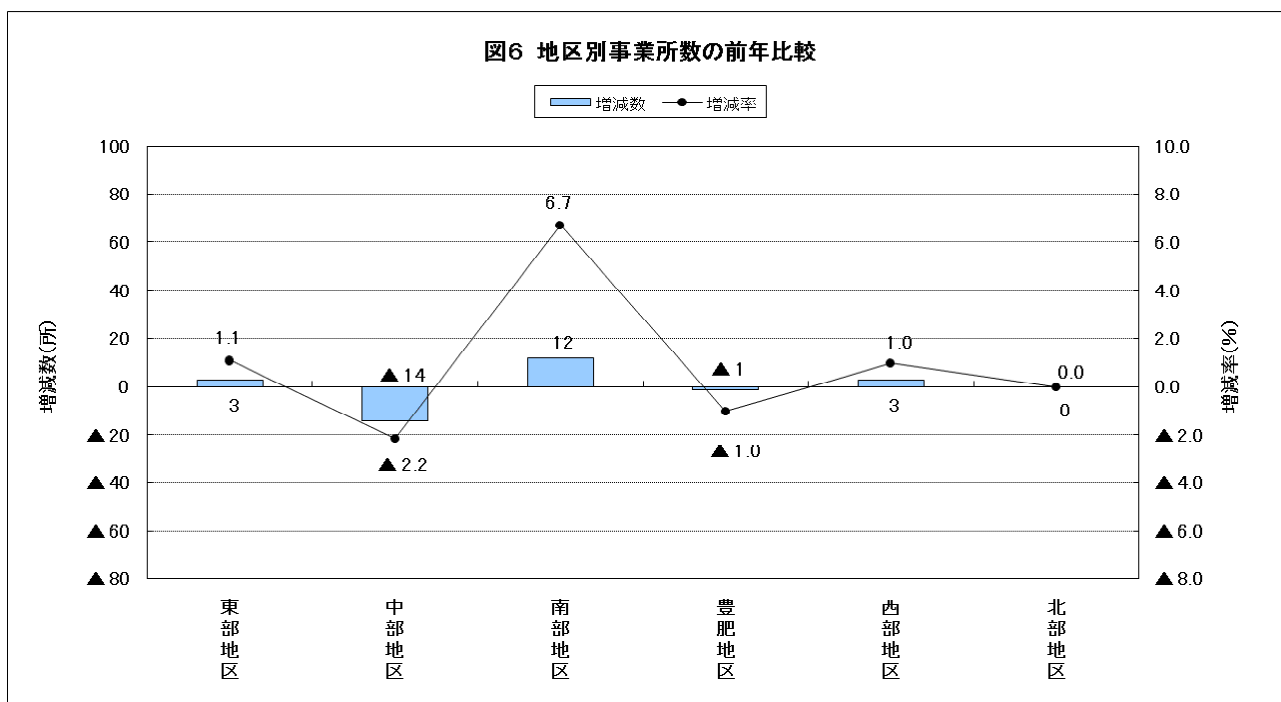
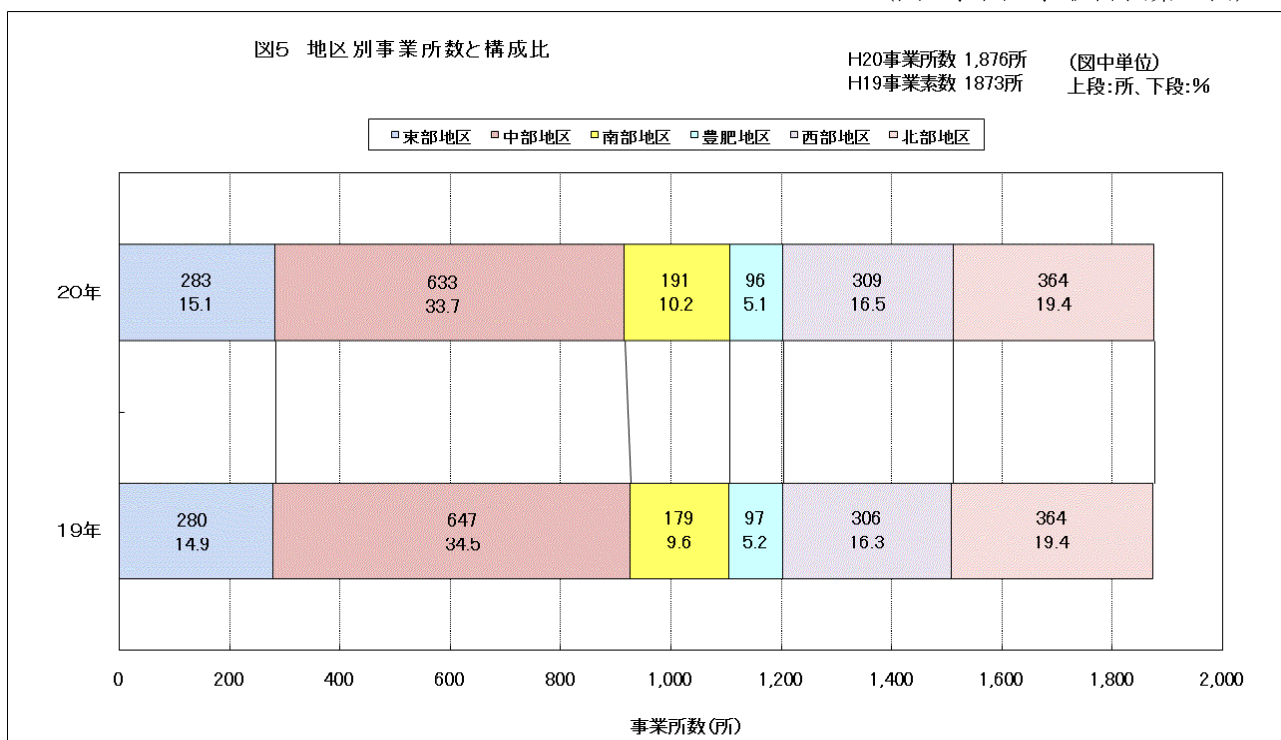
表3 主な増加市町村と減少市町村

主な増加市町村			主な減少市町村		
1	佐伯市	12事業所 増・前年比 6.7 %増	1	大分市	17事業所 減・前年比 3.6% 減
2	九重町	5事業所 増・前年比 38.5 %増	2	杵築市	4事業所 減・前年比 6.2% 減
3	別府市	3事業所 増・前年比 3.3 %増	3	豊後大野市	4事業所 減・前年比 7.0% 減
4	竹田市	3事業所 増・前年比 7.5 %増	4	中津市	3事業所 減・前年比 1.6% 減

(5) 地区別状況

中部地区で増加し、その他の地区では事業所数が減少した。

(図5、図6、統計表第7表)



3 従業者数

(1) 概況

平成20年の従業者数は72,958人で、前年に比べ2,899人減少（前年比3.8%減）した。

(2) 従業者規模別状況

すべての規模層で減少し、大規模層では1,380人減少した。

（表4、統計表第2表）

表4 従業者規模別従業者数の構成と増減

規模別区分	従業者数・構成比	増減数・増減率
小規模層（4～29人）	16,051人（22.0%）	353人減・前年比2.2%減
中規模層（30～299人）	31,775人（43.6%）	1,166人減・前年比3.5%減
大規模層（300人以上）	25,132人（34.4%）	1,380人減・前年比5.2%減

(3) 業種別状況

従業者数は、食料品、電子部品、輸送機械、情報通信、業務用機械、の順に多く、これらの5業種で全従業者数の半数の50.0%を占めている。

また、増減では、前年に比べ輸送機械、業務用機械など8業種が増加した。

一方、減少したのは、情報通信、電子部品など16業種であった。

（図7、図8、統計表第3表）

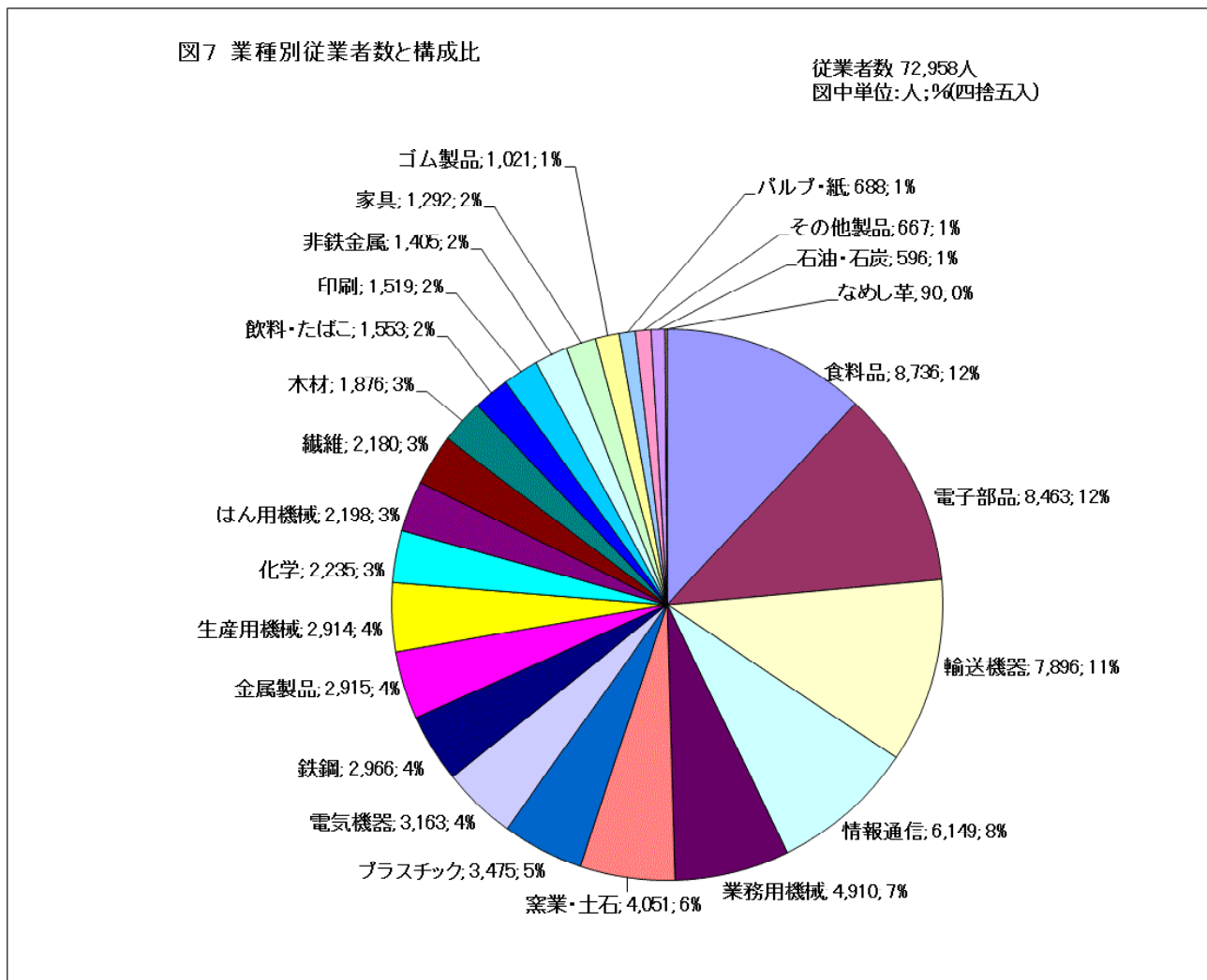
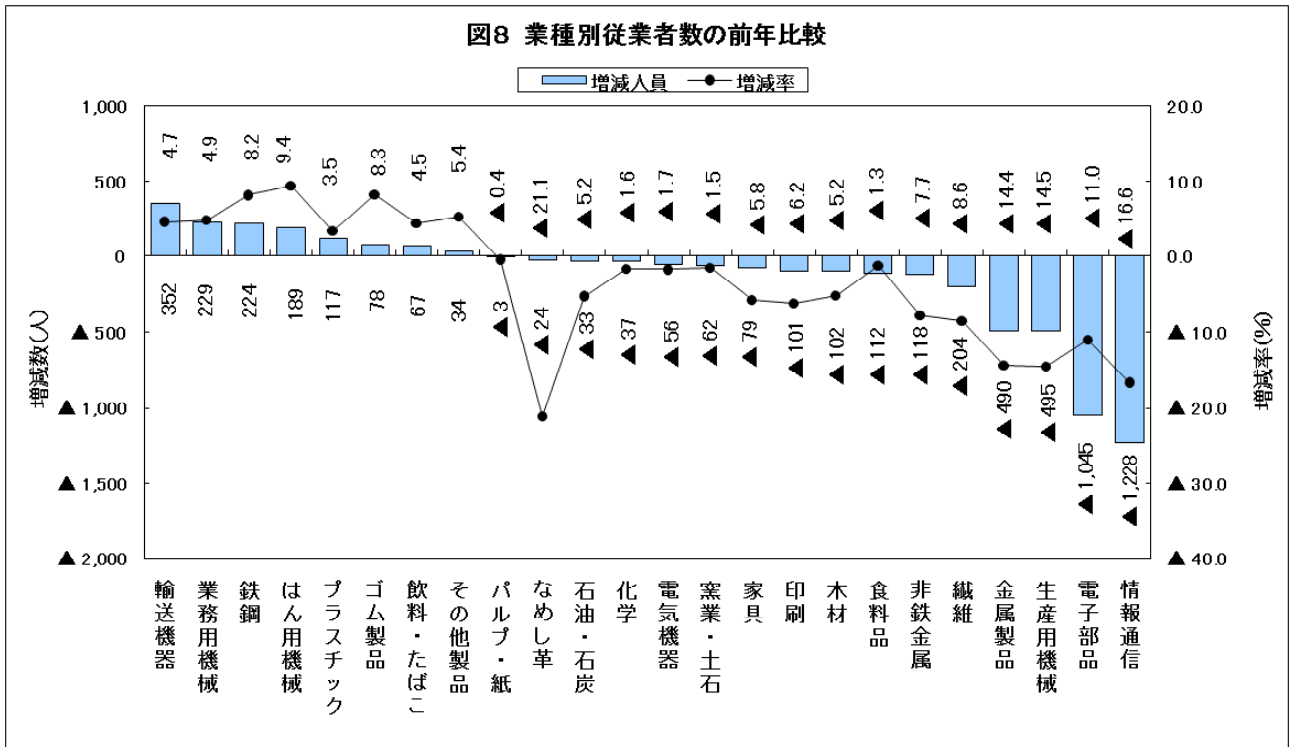


図8 業種別従業者数の前年比較



(4) 市町村別状況

従業者数は、大分市、中津市、国東市の順に多い。これら3市で全従業者数の半数強の54.9%を占めている。

また、前年に比べ増加したのは中津市、九重町のみで、その他の市町村すべてで減少した。

(図9、表5、統計表第5表)

図9 市町村別従業者数と構成比

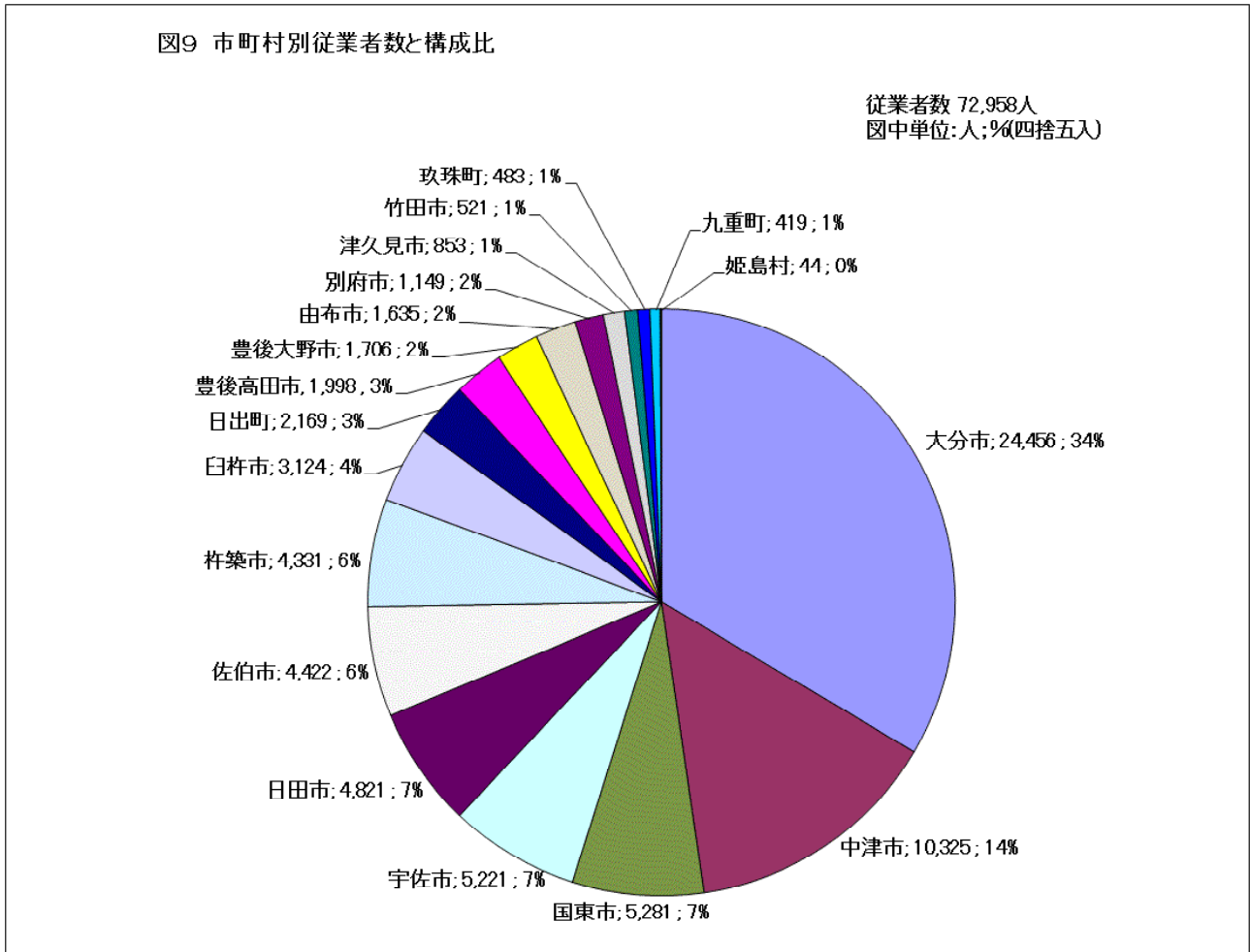


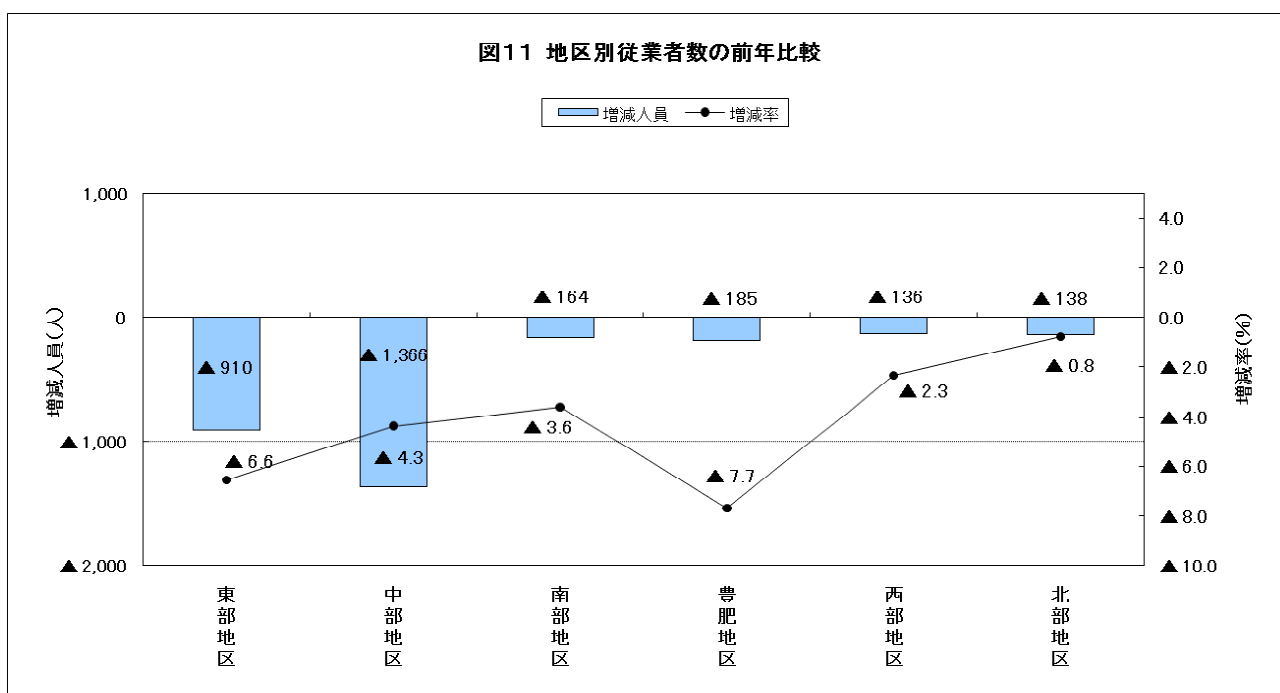
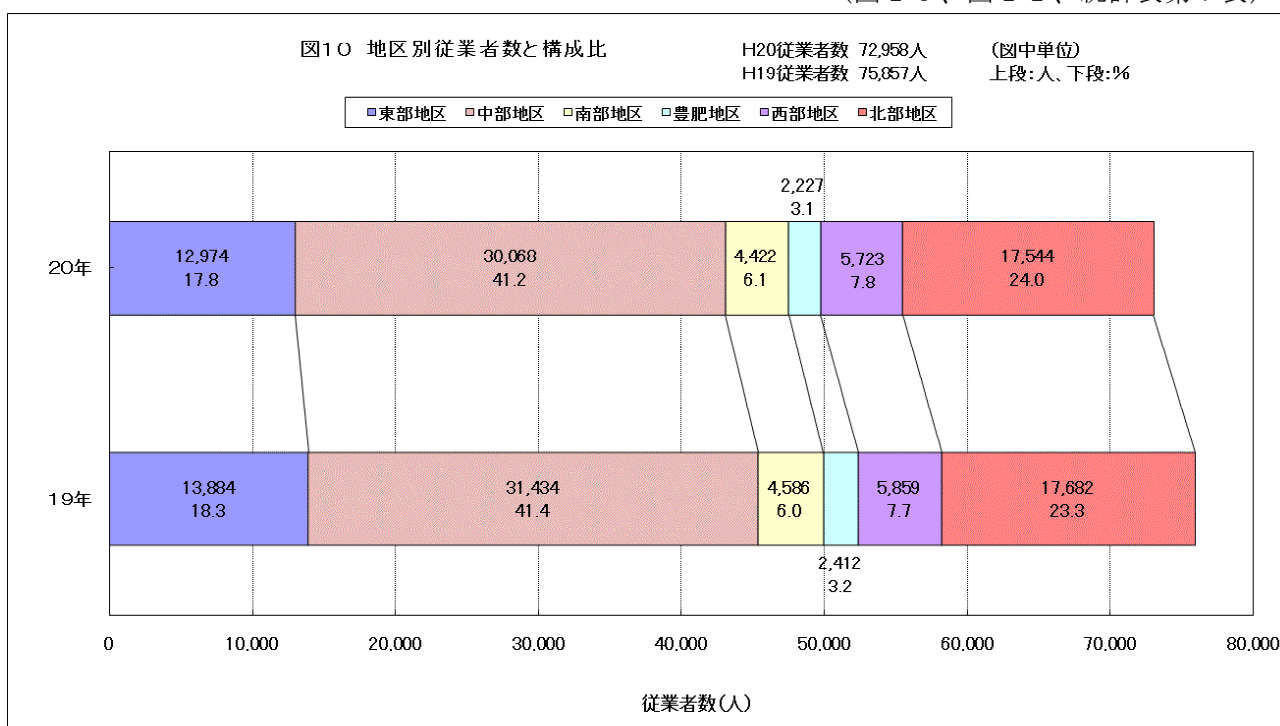
表5 主な増加市町村と減少市町村

主な増加市町村			主な減少市町村		
1	九重町	142人増・前年比 51.3%増	1	大分市	946人減・前年比 3.7%減
2	中津市	89人増・前年比 0.9%増	2	杵築市	381人減・前年比 8.1%減
			3	臼杵町	310人減・前年比 9.0%減
			4	国東市	309人減・前年比 5.5%減
			5	日出町	185人減・前年比 7.9%減

(5) 地区別状況

豊肥と西部地区で前年を下回ったが、北部など他の地区で上回った。

(図10、図11、統計表第7表)



4 製造品出荷額等

(1) 概 況

平成20年の製造品出荷額等は4兆4,106億円で、前年に比べ1,595億円増加（前年比3.8%増）した。

(2) 従業者規模別状況

小規模、中規模層で前年を下回り、大規模層では増加した。

(表6、統計表第2表)

表6 従業者規模別製造品出荷額等の構成と増減

規模別区分	製造品出荷額等・構成比	増減額・増減率
小規模層(4～29人)	2,612億円(5.9%)	89億円減・前年比3.3%減
中規模層(30～299人)	1兆209億円(23.1%)	2,755億円減・前年比21.3%減
大規模層(300人以上)	3兆1,285億円(70.9%)	4,440億円増・前年比16.5%増

(3) 業種別状況

製造品出荷額等は、鉄鋼、化学、石油・石炭、情報通信の順に大きく、これら4業種で全体の半分の55.5%を占めている。

また、前年との増減では、鉄鋼、輸送機械、業務用機械、プラスチックなど11業種で増加し、電子部品など13業種で減少となった。

(図12、図13、統計表第3表)

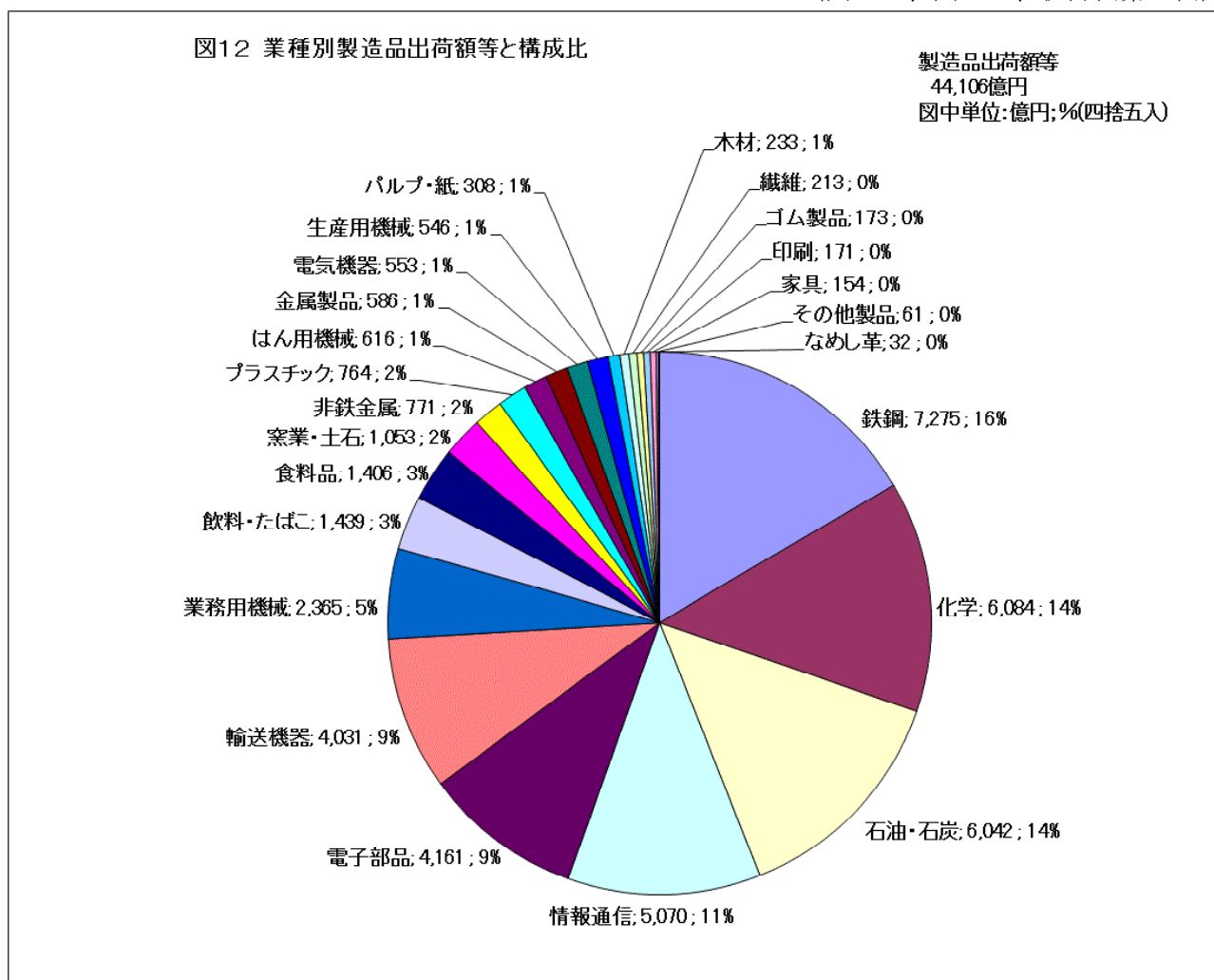
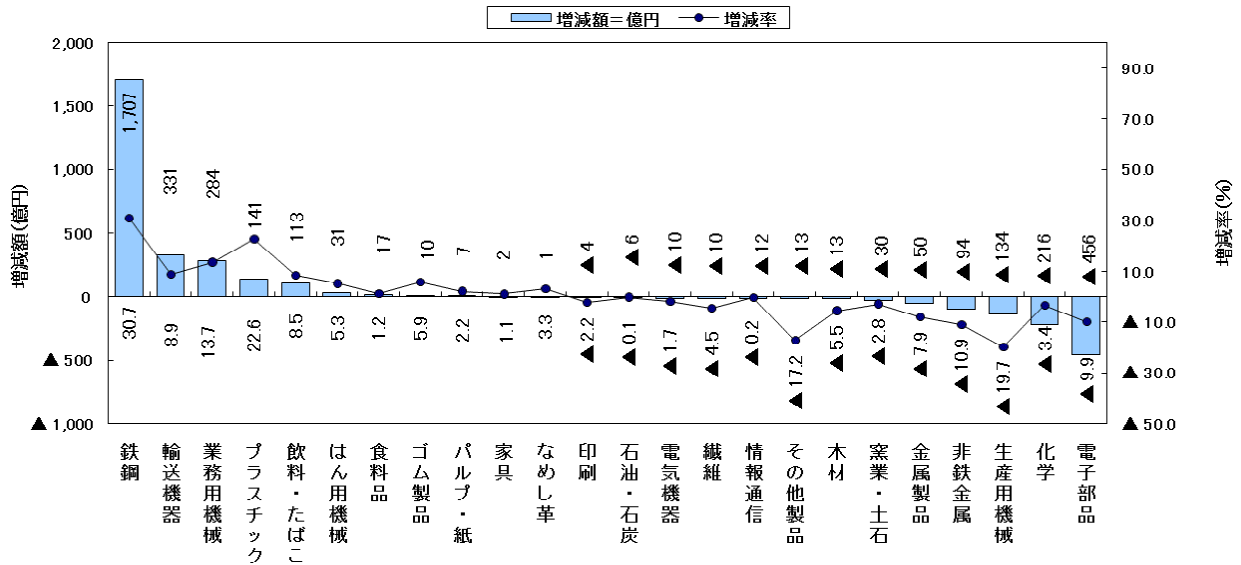


図13 業種別出荷額等の前年比較



(4) 市町村別状況

大分市で全体の64.0%を占めている。

また、前年に比べ増加したのは6市町、減少したのは12市町村であった。

(図14、表7、統計表第5表)

図14 市町村別製造品出荷額等と構成比

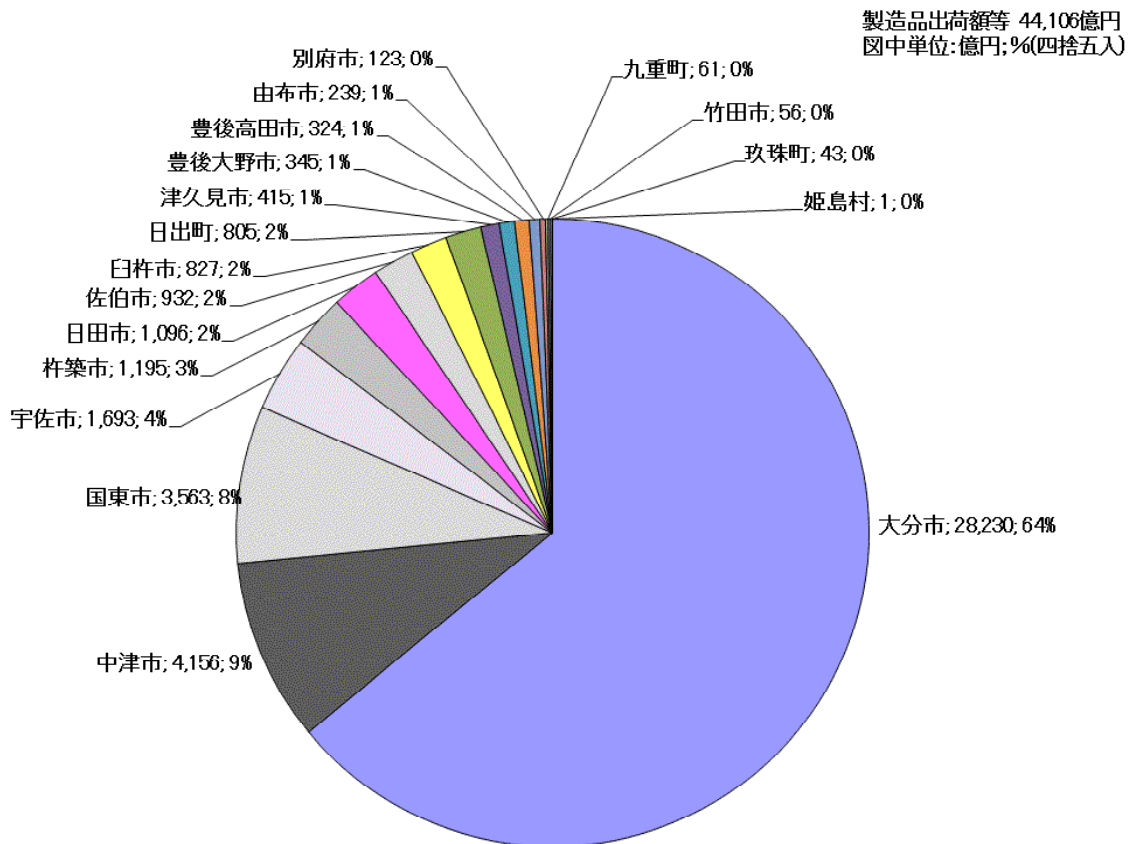


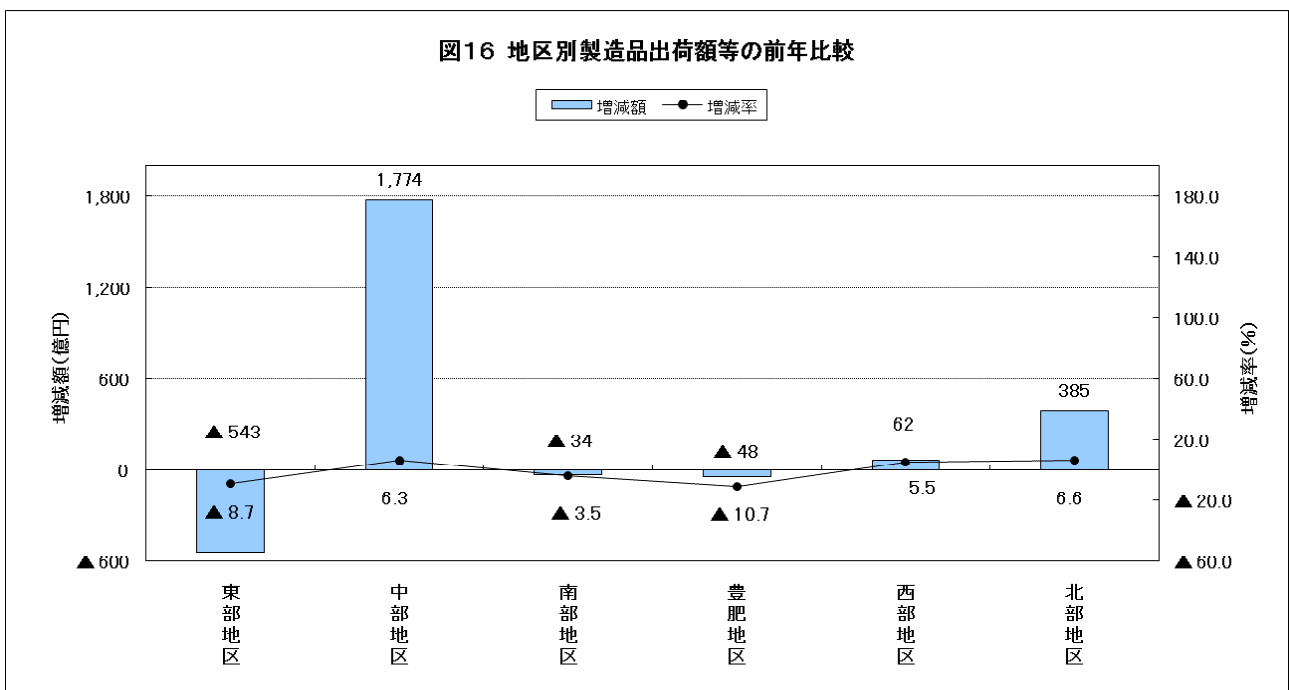
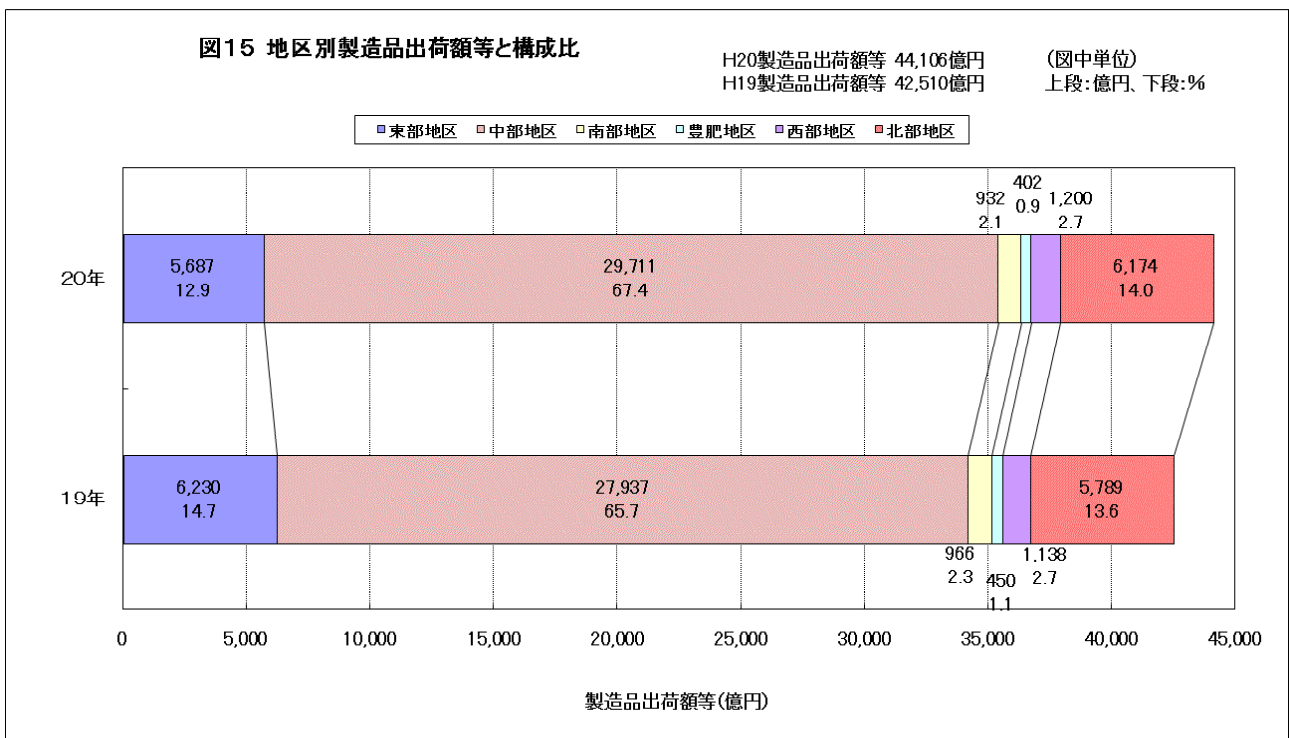
表7 主な増加市町村と減少市町村

主な増加市町村			主な減少市町村		
1	大分市	1,903億円増・前年比 7.2%増	1	国東市	343億円減・前年比 8.8%減
2	中津市	414億円増・前年比 11.1%増	2	臼杵市	133億円減・前年比 13.9%減
3	日田市	63億円増・前年比 6.1%増	3	日出町	95億円減・前年比 10.6%減
4	九重町	19億円増・前年比 47.2%増	4	杵築市	92億円減・前年比 7.1%減
5	由布市	16億円増・前年比 7.1%増	5	豊後大野市	39億円減・前年比 10.2%減

(5) 地区別状況

東部、南部、豊肥地区で前年を下回ったが、その他の地区では前年を上回った。とくに中部、北部地区で出荷額等の増加が大きかった。

(図15、図16、統計表第7表)



5 現金給与総額

平成20年の現金給与総額は2,999億円で、前年に比べ50億円の増加（前年比1.7%増）となった。

業種別では、増加が輸送機械、業務用機械等11業種、減少が電子部品等13業種であった。

1人当たりの現金給与は281万円で、前年より2万円減少した。

1人当たりの現金給与を従業者規模別にみると、500～999人規模で最も高く（481万円）、4～9人規模で最も低く（237万円）なっている。

1人当たりの現金給与を業種別にみると、化学（589万円）、石油・石炭（413万円）、生産用機械（383万円）、非鉄金属（381万円）の順となっている。

（統計表第2表、同第4表）

6 原材料使用額等

平成20年の原材料使用額等は3兆825億円で、前年に比べ1,490億円の増加（前年比5.1%増）となった。

業種別では、増加が16業種、減少が8業種となった。

（表8、統計表第4表）

表8 主な増加業種と減少業種

主な増加業種		主な減少業種	
1	鉄鋼 840億円増・前年比 22.5%増	1	石油・石炭 485億円減・前年比 8.9%減
2	輸送機械 502億円増・前年比 17.0%増	2	電子部品 390億円減・前年比 16.8%減
3	化学 463億円増・前年比 9.9%増	3	生産用機械 67億円減・前年比 20.5%減

7 有形固定資産投資総額

平成20年の有形固定資産投資総額（従業者30人以上）は3,298億円で、前年に比べ1,227億円の増加（前年比59.3%増）となった。

増加した業種は、電子部品（1,192億円増）、鉄鋼（363億円増）等の順となっている。

（統計表第8表）